

台湾で日本文化を紹介 来年3月に第2回イベント開催

Touch The Japan



一般社団法人国際観光文化推進機構(東京都千代田区)は、来年3月18日から21日に台湾・台北で日本観光・文化エキスポ「第2回Touch The Japan」を開催すると発表した。

年間250万人(2014年実績)が日本を訪れる台湾の人たちへ、日本の文化や観光の魅力を発信するイベントを開催する。現地の展示会場「台北市花博公園争艶館」6000平方メートルなどを使

い、日本企業・団体、台湾の旅行会社などによる展示ブースを通じて、訪日旅行への魅力を体験してもらう。

第2回は台湾の旅行会社2500社が加盟する現地最大の旅行業界団体「中華民国旅行商業同業公會全國聯合會」が全面協力する。また、目玉イベントとして

大分県玖珠町から提供された全長35mの「鯉のぼり」を展示。来場者には鯉のぼりをくくってもらうことで歓迎を表現する。さらに、巨大スクリーンによる8Kの高画質映像ショー、国民的アーティストによるライブパフォーマンスなども企画する。

今回のイベントに協力する中華民国旅行商業同業公會全國聯合會の張玉林氏は「台湾にとって日本への旅行は大きなマーケット。『近くて遠い友』という言葉があるが、台湾と日本は『近くて近い友』として、今後も交流を深めていきたい」と語った。

台湾から200億円を超える義捐金と多くの救助隊や支援助物資が提供されるという多大な支援が寄せられた。国際観光文化推進機構の安藤俊介理事長は「互いに隣国として親密な関係を維持する台湾に、震災復興への感謝を表明する機会として企画した」と語る。

第1回は日本の商品や伝統文化、観光・宿泊サービス、フライダル企業、地方自治体など85社/団体・169小間が出展した。また、人気アイドルグループ「AKB48」高橋みなみさんをはじめとするアーティストなどのステージプロモーションも行われ、4日間の会期中、4万人を超える来場者と331件ものマスコミ取材が訪れ、大きな反響を起した。